

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	福岡城西学園チロルⅡ		
○保護者評価実施期間	令和8年 3月 3日		～ 令和8年 3月 19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 20
○従業者評価実施期間	令和8年 3月 3日		～ 令和8年 3月 19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4(1名休職中)
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 24日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童が安心して過ごせること	児童の自立に向けた支援を常に心がけ共通認識で動いている	児童がプログラムの内容に満足感をもち、自信をつけることで将来への選択肢が広がるようなプログラムを考える
2	適切な支援の提供を行っていること	高校卒業後に向けた取り組みとして、就労系の福祉サービス事業所から出前講座に来ていただいたれ、見学会の開催を行っている	外部研修への参加と、内部研修を増やし放課後等デイサービスの提供すべき支援の理解を深める
3	相談に迅速に対応していること	連絡帳、公式LINE、HPなどを通して日ごろの児童の様子を伝えている。連絡事項や相談事は職員、関係機関で共有し、速やかに対応している	契約時にお伝えする注意事項説明について、今以上に丁寧な説明を行う

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアル等ばHPにも載せているが、周知説明が不完全だった	契約時にお伝えするだけになっていること、説明が不十分だったこと	通信やHP等を活用して、HPからのマニュアル閲覧を促しを実施する
2	放課後児童クラブや児童館との交流、地域の子供と活動する機会を持っていない	利用児童が高校生と中学生と言うこともあり、小学生の利用が多いイメージの児童クラブや児童館に意識が向かなかった	チロルの文化祭に招待をしてゲーム等の内容での交流から始められるように取り組みます
3	きょうだい向けのイベント開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	保護者交流会の開催は行っているが、きょうだい同士の交流は意識が向いていなかった	きょうだい同士の交流について関係機関からのご指導も受けながら企画をします